



支持声明

支持声明は、8月6日（土）午前9時15分から本会議で行われます。

声明リスト

声明	発起者
米国	マイケル・カーリー主教
コンゴ	タイトル・アンデ・ジョージズ大主教
ナイジェリア	ジャスティン・ウェルビー大主教
エルサレム・中東	ホサム・ナオウム大主教
エジプト	サミ・ファウジ大主教
ウクライナ	ロバート・インネス主教
スーダン	エゼキエル・グチ大主教
パキスタン	アザド・マーシャル主教
南スーダン	ジャスティン・バディ大主教
スリランカ	キールシザーリ・ファーナンド主教
ミャンマー/ビルマ	Lambeth Conference に出席しているミャンマーの主教
タンザニア	マイボ・ムンドルワ大主教
カナダと世界中の先住民族	リンダ・ニコールズ大主教



難民と移住の危機

ジャスティン・ウェルビー大主教



米国での発砲事件への支持声明

発起者：マイケル・カーリー主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するため聖公会の各管区からここに集まった全世界聖公会の主教として私たちは、米国で銃乱射事件が連続して起きていることについて深く嘆き悲しんでいます。

使徒パウロがコリントのキリスト教徒に宛てた「体の一部が苦しみを受けることは、すべてが苦しみを受けることです」というくだりを思い起こし、私たち主教は、米国で銃乱射事件が連続しており、学校や店舗、公共の場所などで犠牲者が出ていることについて、そしてつい最近もアラバマ州の米国聖公会の教区で起きた事件について深く嘆き悲しんでいます。私たちは、被害者とそのご家族、そして銃暴力に恐怖を感じている方々のためにお祈りいたします。私たちは、銃による暴力反対主教連合（Bishops United Against Gun Violence）（<https://bishopsagainstgunviolence.org>）などの団体の活動に賛意を示し、銃による死傷者を減らすための法制定を提唱する善意の人々の努力が神によって称えられるようお祈りします。

私たちはまた、国内のいたるところで個人や社会に不安をもたらす混乱や危険をもたらす分断が続くことを非常に悲しんでいます。十字架につけられ、生き返った救世主、ナザレのイエスがはっきりとあらわされた愛が、互いに対立する人々の心に届き、壁を壊し、そして暗い時代に希望をもたらしてくださいように。



コンゴ聖公会教会に関する声明

発起者：タイトル・アンデ・ジョージズ大主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するため集まった全世界聖公会の主教として私たちは、コンゴ民主共和国と東アフリカ地域全体における平和、安全、そして民主主義のために取り組むことをここに再確認します。

私たちは、おののおのが神のかたちに造られ、私たちの創造主の内に愛され、そして大事にされているという信念に基づき、1948年の国連世界人権宣言が記す共通の利益すべてを再確認します。私たちは、コンゴ民主共和国東部で紛争が続き、その結果命と財産が失われ、難民危機が生じ、経済が低迷し、そして民族の分断がますます深まっているという深刻な問題を抱えています。

イエス・キリストはその信者に、平和を造る人になるよう召したように、私たちも紛争に巻き込まれたすべての人々に、苦しみを解く手段として対話を受け入れ、今も苦しみを受けている弱者と連帯することを求めます。

コンゴ国とこの地域のための私たちの祈りが、持続可能で公正な平和をもたらし、私たちの希望であり救世主であるイエス・キリストに栄光がもたらされるよう願います。



ナイジェリア支持声明

発起者：ジャスティン・ウェルビー大主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するため聖公会の各管区からここに集まった全世界聖公会の主教として私たちは、ナイジェリアにある教会とナイジェリアの人々に暖かい挨拶と励ましの言葉を送ります。

ナイジェリア教会管区が私たちと共にここにいないことを非常に残念に思います。ナイジェリア教会管区の参加を妨げている違いが私たちの主によっていつか癒やされることを祈ります。

ナイジェリアは、高度な技能を持つ人材、天然資源、そして鉱物資源を豊富に有する国であり、世界の舞台で多大な貢献をしている国の一つです。

主教らは、ナイジェリアの国や人が直面する治安や経済、宗教、政治上の問題について悲嘆に暮れています。ナイジェリアは今なお、全聖公会の主教がよく祈りをささげる地点の一つです。

私たちは、平和の道を探るよう私たちの主から召されています。私たちは、ナイジェリアの国と人のために、私たちが召されたことを引き続き行っていくことをお約束します。ナイジェリアが現在の課題を克服することができると私たちは確信しています。私たちの希望と、ナイジェリアのすべてのキリスト教徒の希望は、十字架につけられ、そして復活したイエス・キリストとともにあります。



エルサレム・中東の聖公会主教区の声明

発起者：ホサム・ナオウム大主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するために集まった全世界聖公会の主教として私たちは、私たちの救い主イエス・キリストが住み、死に、そして復活した聖地、「生ける石」にキリスト教徒が歴史上長く暮らしてきたことの重要性をここに確認します。イスラエルとパレスチナ占領地区のすべての民族と宗教コミュニティに対する取り組みを続けつつ、私たちは、二国併存の制度が、すべての人々にとって持続的未來を実現し、両国が安全で平和に、そしてすべての市民が尊厳を持って共に存続するために最も期待できる解決策であるという私たちの信念を改めて表明します。

エルサレムは今なおそのような未来の希望にとって歴史的に重要であり、エルサレム内でキリスト教徒が暮らし、そして発展することは尊重され、守られなければなりません。したがって、私たちは次のことを支持します。

- イスラエルは、自由国としての安全保障と保護を維持する権利を当然持つが、他方で他の国と同じように国際法の規定も守らなければならない。
- ヨルダン川西岸地区とガザ地区のパレスチナ人の民族自決に対する強い願望と占領の終結のためには、二国並存制度が今でも最も期待できる解決策であり、この地域のすべての人々にとって公平で平和を実現する方法である。



- エルサレムは、ユダヤ人、キリスト教徒、そしてイスラム教徒にとってかけがいのない都市である。したがって、国連に従い私たちは、エルサレムが、イスラエルとパレスチナ占領地区の今後の政治的解決に関して本質的な問題であると考えます。



エジプトのアレクサンドリア管区を歓迎する支持声明

発起者：サミ・ファウジ大主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するため聖公会の各管区からここに集まった全世界聖公会の主教として私たちは、2008年の前回会合以降に設立された聖公会の教会（管区）、とりわけ聖公会アレクサンドリア管区のために全能の神に感謝を捧げます。

私たちはアレクサンドリア管区が、アフリカ聖公会管区評議会、中東教会評議会、全アフリカ教会会議、そして世界教会協議会に正式加盟したことを歓迎します。エジプト教会評議会の設立メンバーとしてエジプト国内の同管区、とくにエジプト主教区が全キリスト教的関係を築くため尽力されたことを私たちは大変喜ばしく思います。また、異教徒間の関係、特にイスラム世界のアル・アザー・アル・シャリフのご尽力もあり、イスラム教との関係の構築に同主教区が主導的役割を果たされたことに感謝します。新しく設立されたキリスト教徒・イスラム教徒理解・パートナーシップセンターと、エジプトのバイト・アル・アイラの主教区加盟による各プログラムを私たちは応援します。

国境地域の紛争や新型コロナウイルスの経済への影響、不安定な国際情勢にもかかわらずエジプトは、自国民だけでなく、長年に渡って確立されてきたもてなしの伝統により歓迎された人々（聖書が言う聖なる家族に避難所を提供）の互いの発展のために努めています。このような伝統とエジプトの現代社会への貢献に感謝している多くの人々とともに私たちは、同国の平和と進歩、繁栄を祈ります。



エジプト主教区によるエジプト社会や世界の聖公会への貢献の動きは、その独立性と自主性を制約しようとする動きのため危機にされされており、私たちはそのことについて懸念を表明します。私たちは、そのような動きに抵抗する同主教区を支援することを改めて表明し、他の教会や異教徒間パートナー、善意ある人々の協力を呼びかけます。私たちは、エジプトとその周辺地域において同聖公会主教区が果たす役割について、アブドルフアッターフ・アッ=シーシー大統領がそれを支持し、大統領の憲法上の権限を行使してアレクサンドリア聖公会管区の設立を認めるよう大統領に懇願します。また、エジプト・アラブ共和国内における自律教会としての機能を回復させることを目的として最近始められた議論についても、迅速な決定が下されるよう求めます。



ウクライナ情勢に関する支持声明

発起者：ロバート・インネス主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するため聖公会の各管区からここに集まった全世界聖公会の主教として私たちは、ウクライナ情勢に関する支持声明を行います。

2022年2月24日にロシア連邦が侵攻を開始して以来、何千ものウクライナ民間人が死亡し、マリウポリなどの都市は廃墟と化し、民間のインフラが破壊されてきました。6月1日現在、700万人近くのもの難民がウクライナ国外に逃れ、さらに700万人が国内避難しています。ウクライナ人口の4分の1を超える人々が自宅からの避難を余儀なくされています。聖公会は、大規模な人道的支援活動においてすでに重要な役割を果たしてきました。

戦争が始まってからのウクライナの農業輸出の急激な落ち込みは、主に南半球にある発展途上国に破滅的な結果をもたらすのではないかと懸念されており、飢餓と避難民のさらなる増加が指摘されています。

ヨーロッパの戦争隣接国では、戦争が拡大することに懸念が広がっています。NATOは、東欧で弾薬量を大幅に積み上げています。ロシア国内では戦争反対は抑制されていますが、経済面では多くの人が悪影響を受けていると考えられます。

ウクライナでの戦争は、違法かつ不当であると広く非難されています。カンタベリー大主教とヨーク大主教は、ロシアによるウクライナ侵攻を「大悪の行為」と表現しています。世界教会評議会は、多くの教会の指導者とともに、戦争の即時終結を求めてきました。私たちは、この紛争で苦しみを受けるすべての人々との連帯を表明します。



私たちは、ウクライナが武力攻撃から自国を守ろうとすることと、国際社会に軍事援助を求めることを認めます。同時に私たちは、世界教会評議会が国際社会に対し平和促進のための投資を大幅に増やすよう呼びかけていることに賛意を示し、対話と平和構築を維持しようとするあらゆる努力を称賛します。特に私たちは、交渉による平和を促すことを目的として、世界教会評議会からキーウとモスクワに代表団を派遣して両国の教会指導者と会談することを内容とする、事務総長主導の「正義と平和の巡礼」の提案を支持します。ますます危険かつ不安定になる世界において私たちは、平和を造る人として自らの務めを果たすことができるかが試されており、最後にはイエス・キリストのもとで人々の和解が実現するよう努力していきます。



スーダン支持声明

発起者：エゼキエル・グチ大主教

カンタベリー大主教からの呼びかけを受け、2022年 Lambeth Conference に出席するため聖公会の各管区からここに集まった全世界聖公会の主教として私たちは、スーダン聖公会が、同国の善良な人々のため、そして民主的な政府のため、永続的平和のための対話への参加を望んでいることを支持します。私たちは次のことを約束します。

1. スーダンの永続的平和を祈り続けること
2. スーダン政府に対し、治安や経済状況への対応策を模索するとともに、一般市民への基本サービスの実施を促すこと
3. スーダン政府に対し、ダルフル、南部コルドファン、南部青ナイル、および東部スーダンの治安状況を改善し、全市民の保護を促すこと
4. スーダン政府に対し、スーダン国内で教会が新たに建物を建てることを認めるとともに、他の教会が困難なく入国ビザを発給されるよう促すこと
5. スーダン政府とエチオピア政府に対し、罪のない人たちの命を奪っている、スーダンとエチオピアとの間で最近勃発した紛争を解決するよう促すこと
6. 殺害の中止とデモを支持し、それによって公正と持続可能な平和のための対話を実現すること
7. 将来スーダンに民主制が実現し、すべての市民に宗教や信仰の自由が与えられ、すべての少数民族を含む全市民の平等の権利が尊重されること



パキスタンへの支持声明

発起者：アザド・マーシャル主教

私ども、Lambeth Conference2022 にカンタベリー大主教により聖公会の各教会管区から招集された世界中の聖公会の主教は、パキスタン教会との連帯を表明します。

私どもはパキスタンの人々の次の求めを支援します。

1. 強制的な未成年結婚に終止符を打ち、すべての少女、特にマイノリティのコミュニティ出身の少女に適切な法的な保護を施し、身体的、宗教的自由が侵害されないこと。
2. クリスマンや他の宗教的マイノリティに対する不道德な非難やそのような偽りの非難に対する制定法の求めに許可を与える冒涇法により有効になっている虐待を終わらせること。
3. 冒涇だという偽りの非難により現在監禁されているすべての人々を投獄から解放すること。
4. パキスタンのマイノリティの宗教的コミュニティが西側の支援を利用できるようにし、教育と開発のための財政的援助を利用する均等な機会を与えること。

パキスタン教会の力と勇気のために、虐げられている人々への慰めのために祈ります。教会の目撃者であり神の子キリストの輝かしい慈悲の世界の目撃者であるように、救済の喜びのために祈ります。



南スーダン聖公会の声明

発起者：ジャスティン・バディ大主教

私ども、Lambeth Conference 2022 にカンタベリー大主教により招集された世界中の聖公会の主教は、南スーダンの平和と安全、そして安定へのコミットメントを再確認します。

私どもは、南スーダン国への気候変動の影響を認め、洪水の頻度が上がり、すでに危険にさらされている多くの生活を徐々に蝕んでいることを認めます。貧困と失業により危機感が深まっており、多くの若者が希望をなくし、祖国を去っています。

私どもの希望はイエス・キリスト、平和の王子にあります。神の王国を求めています。そこでは最初のものが最後であり、最後のものが最初なのです。私どもは、南スーダンの平和と正義のために祈ります。すべての人々の繁栄を祈ります。我々皆が平和を実現し、神の子キリストと和解した生活の満足、互いと神の被造物に対する満足を実現する未来に祈ります。



セイロン聖公会（スリランカのアングリカン教会）の声明

発起者：キールシザーリ・ファーナンド主教

私ども、世界中の聖公会の主教は、Lambeth Conference2022 にカンタベリー大主教により招集されました。

1. 抗議運動の平和的キャンペーンを認めます。市民社会とスリランカの教会が、憲法に認められたスリランカの政治構造のこの数ヶ月での急激な変化で、汚職や身内びいき、不始末のない法の支配、公の説明責任とガバナンスが促進されることを認めます。
2. 新大統領とスリランカ政府に、すべての政党と平和的抗議運動と連帯し、政治と経済の改革のプログラムに賛同し、同国が直面する深刻な経済問題に取り組み、コミュニティにおける弱者層が、そのような是正措置の重荷に耐えなくてもよいように保証することを求めます。
3. 生活必需品の不足、日常生活の崩壊状態、病院の医薬品の深刻な不足、学校と大学の崩壊状態、農業、プランテーション、漁業コミュニティの困苦と混乱により、人々が直面する深刻な苦難を認めます。
4. これらの喫緊の難題には、スリランカの長期にわたる悲劇的な市民戦争に続く国民の和解と移行的正義の重要かつ未解決の作業を見落とすことなく対処する必要があることを確認します。
5. 国際社会には、スリランカの人々に支援と援助の手を差し伸べ、スリランカ政府が緊急の人道経済援助を獲得し、一般市民が経験している困難を緩和し、国家の経済を回復可能にし、最も同国の人々のためになる政策を追求することを求めます。
6. 新大統領が、対話と協力を通じてコンセンサスに達するために野党と市民社会に向き合うのではなく、この数日、批判や不同意、言論と平和的抗議の自由へ



の取り締まりを求めたことに注目し、新大統領と政府には、直面する膨大な責任に法の支配と基本的な人権を擁護するやり方で対処することを求めます。

7. セイロン聖公会の主教と各教区およびスリランカの人々が前途に難題と直面している今、心からの連帯を表明し、緊密に監視し、この厳しい前途数ヶ月を、セイロン聖公会の主教と各教区と共に協力し、祈りを捧げることを約束します。

スリランカの国民のための私どもの祈りは、持続可能で正当な平和のためであり、イエス・キリストの栄光、私たちの希望と救済のためであり、すべての人々の公益のためです。



ミャンマー/ビルマの人々への支持声明

発起者: Lambeth Conference に出席しているミャンマーの主教

私ども、Lambeth Conference 2022 にカンタベリー大主教により聖公会の各教会管区から招集された世界中の聖公会の主教は、ミャンマー/ビルマの人々への支持声明を送ります。

Lambeth Conference は、ミャンマー/ビルマで引き続く紛争とその結果としての平和と安全の崩壊状態、そして結果として生じる人々の混乱と人命の損失に深い懸念をもち注目します。

オランダ、ハーグにある国際司法裁判所に持ち込まれたロヒンギャ・コミュニティの状況と国内の法と秩序の状況は双方とも、人の尊厳、民主的多数、および基本的自由に対する尊重に関して地域的にも国際的にも深刻な懸念を高めてきました。この問題には、宗教や信仰の自由、礼拝の場所の神聖さと不可侵性の礼遇が含まれます。

私どもは、ミャンマー/ビルマの正義と和解のために祈り続けます。私どもは、同国内外のキリスト教徒コミュニティを支援し続け、彼らがたとえいつどこでもすべての人々の安全と福祉を保護、保証する永続性のある解決策をもたらす取り組みの仲裁に入るのを励まします。



タンザニアへの支持声明

発起者 - マイボ・ムンドルフ大主教

私ども、Lambeth Conference2022 にカンタベリー大主教により招集された世界中の聖公会の主教は、タンザニア、東アフリカ、およびアフリカ大湖沼全体における人間の尊厳へのコミットメントを再確認します。

私どもは、コンゴ民主共和国およびモザンビーク北部の政治的不安定の影響、気候変動、および若者を移住に導き、多くの場合現代の奴隷生活に遭わせる失業を認めます。

教会は、それぞれの人間の尊厳を保護することを神から求められています（ヨハネによる福音書 3 章 16 節、コロサイの信徒への手紙 1 章 15 節から 20 節）。したがって、私どもは、すべての宗教指導者に悪に対してコミュニティを敏感にし、政府や非政府組織と協力し、人々が売買されないように保護する対策を保証し、すべての人々の公益のために役立つ組織を社会に構築することを求めます。



カナダと世界中の先住民族に関する支持声明

発起者 - リンダ・ニコールズ大主教

私ども、Lambeth Conference 2022 にカンタベリー大主教により招集された世界中の聖公会の主教は、先住民族の権利に関する国際連合宣言に従い、カナダおよび世界中の先住民族の権利へのコミットメントを確認します。

私どもは、先住民族の機関、アイデンティティ、言語、文化、およびガバナンスを取り去った植民地化の影響を深く後悔します。発見の教義と結託し、害のある政府政策を導入し、先住民族の神聖な遺産を侮辱し、儀式を禁じ、土地を奪ったことを深く後悔します。

カナダ聖公会は、家族から子供たちを引き離した痛ましい遺産を共有します。植民地法では、子供たちを、精神的、感情的、身体的、かつ性的な虐待により世代を超えてショックを与えた住居地の学校に送ることが求められます。1993年のマイケル・ピアーズ大主教の謝罪の言葉には、「私たちはあなた方を自分の鋳型に入れて作り直そうとしました。」とあります。カナダの教会管区は、認知、悔恨、正義の追求、そして癒やしの長い旅路を始めました。それは、福音の求めと神の子すべての人間としての尊厳の核心にある和解に向かって生きるために必要なことです。

カナダ聖公会内にある民族自決の先住民の教会のための枠組みは、2023年の聖なるサークル (Sacred Circle) により先住民が確認する変化の先端にあります。私どもは、先住民族の価値と精神的なコミットメントを反映する新しいやり方で教会全体とともに歩む福音中心の教会の形態を識別するように、先住民族と聖なるサークルのアングリカン協議会とともに祈ることを約束します。

カナダ全体の先住民族でない人々が植民地化の全物語と貧困（不十分な住居、行方不明になったり殺害されたりした先住民女性や少女、世代を超えたトラウマ、資金不足の教育、先住民族のための不十分な医療）の原因となる引き続く影響を



認識するために学習するように、カナダ全体の先住民族でない人々のために祈ることを約束します。

私どもは、世代を超えた内面のトラウマが私たちの関係をどのように形作ったかをともに学びながら、先住民族と先住民族でない人々とともに祈ることを約束します。私どもは、福音の解放する力が、神のすべての人々に自由と人生の充足をもたらすために必要であることを知っています。

私どもは、人間性を復活させるために植民地的地位から脱却させる仕事をすることを約束します。

私どもは、同じ自由を切望する世界中の先住民族とともに歩み、支援することを約束します。



難民と移住の危機についての声明

ジャスティン・ウェルビー大主教

私ども、Lambeth Conference 2022 にカンタベリー大主教により招集された世界中の聖公会の主教は、難民や移住者の処遇へのコミットメントを再確認します。彼らは神の似姿として作られ、それ故平等の尊厳と尊敬に値するからです。

今回の Lambeth Conference ですでに提示された、聖公会内の個々の教区からの声明では、紛争、気候変動、諸国内および諸国を横断した人々の大量移動がすでにあつたことによる食糧不足の影響がますます強まることが強調されています。聖公会キリスト教徒として、私どもは、宣教の指標の中で、「愛の奉仕により人の必要に対応し」、「社会の不正な制度を変換し、あらゆる種類の暴力に挑戦し、平和と和解を追求する」ことを求められています。故国を離れたり、何らかの形で売買されたりした人々の喫緊のニーズを満たし、すべての人々の繁栄を支援するためのより良い制度を構築するためにできることをすることが、我々の使命の中心にあるのです。

したがって、私どもは、次のことに対する支援を確認します。

1. 世界中の宗教指導者が署名した一連の主張を含む、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）見知らぬ人を歓迎する（2013）イニシアチブ。この主張は、すべての信仰の指導者に、尊厳、尊敬、そして愛の支援により「見知らぬ人を歓迎する」ように鼓舞することを目的としており、自分のコミュニティにいる難民やその他の故国を離れた人々への支援を促進するためのリソースであり、実地的なツールです。
<https://www.unhcr.org/uk/protection/hcdialogue%20/51b6de419/welcoming-stranger-affirmations-faith-leaders.html>
2. 聖公会管区、教区、および現場の機関の作業。教会とその他の信仰コミュニティは、多くの故国を離れざるを得ない状況の最前線にあり、潜在



的な強制移住の早期の警告となる兆候を特定したり、祖国を離れた人々の物質的、精神的ニーズを満たしたり、国内や国境を横断した自国の強制的移住に対処したりしています。

3. 難民に関するグローバル協定および安全で秩序のある定期的な移住に関するグローバル協定、2018年に諸国により両協定の採択が普及したことを歓迎します。私どもは、すべての国々に、両協定の下での自国のコミットメントを完全に実施し、両協定の原則を国家の政策に統合するように強力に推進します。私どもは、難民に関するグローバル協定の目的を支援することをすでに誓約した聖公会のこれらの管区と教区を祝福し、その他の管区と教区が故国を離れざるを得ない人々の聖務を執行する仕事をし、2023年のグローバル難民フォーラムに先立ち提案をするために国連の聖公会事務所と協力するように奨励します。
4. 強制移住の原動力としてのグローバルレベルでの気候変動やその他の環境変化への理解がますます深まることに応じて、災害や気候変動の文脈で圧倒的多数の強制的移住が国境を横断することなく各国の内部で発生していることが認められます。私どもは、UNFCCC（国連気候変動枠組条約）、IOM（国際移住機関）や他の国際機関とフォーラムを含み、最も富める国が最も大きい重荷を担い、グローバルレベルで公正かつ寛大で普遍的な取り組みをまとめるためのより一層の政治的意思を必要としています。